

FD・SD

プログラム番号 2702F

データに基づく教育改善の視点と方法 ―教学 IR 入門―

■講師



山田 剛史

(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長・准教授)

2006 年 8 月に島根大学教育開発センター講師・実施部門長となり、准教授・副センター長、2011 年より愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授、教育調査・分析部門長を経て、2013 年 4 月より現職。著書に、『大学の IR Q&A』(共著)、『学生と楽しむ大学教育:大学の学びを本物にする FD を求めて』(共著)、『新・青年心理学ハンドブック』(共著)、『生成する大学教育学』(共著)などがある。



清水 栄子(愛媛大学・教育・学生支援機構教育企画室・助教)

安田女子大学文学部英語英米文学科卒業。桜美林大学国際学研究科大学アドミニストレーション専攻修士課程修了。広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了(博士(教育学))。学校法人安田学園安田女子大学企画室、庶務課、教務課、学生課、公立大学協会事務局主幹、国立高等専門学校法人阿南工業高等専門学校 FD 高度化推進室特命講師を経て、2013 年 4 月より現職。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC。

■プログラム概要

IR(インスティテューショナル・リサーチ)は、学内外の多様なデータを用いて計画立案、政策形成、意思決定を支援するための情報を提供する活動です。情報を提供するという行為は、単にデータを提供するのは異なります。大学にはさまざまなデータがありますが、多くのデータはある事実を表した無機質なものにすぎません。データから意味のある情報へと変換することが、IR の業務の本質であり醍醐味と言えます。

データを意味のある情報に変換するには、そのデータがどのような意味を持っているのか、他のデータとどのような関係があるのかなど、問題意識を持って仮説を立てたり解釈したりすることが必要です。また、データを加工して意味のある情報に変換するためには、各種分析手法も重要になります。

本ワークショップでは、IR の実践のための指針、IR の標準的なプロセスや具体的手法、IR の実践事例を通して、実際の教育改善の場面で活用できる IR の基本的な知識と技能を身につけることを目指します。

■主な受講対象

IR の実践に関心のある教員・職員

■本プログラムの到達目標

1. どのような指針にそって IR の実践を進めたらよいかを自分の言葉で説明できる
2. IR の実践の標準的なプロセスと課題を自分の言葉で説明できる
3. IR の知識と技能を教育改善の具体的事例に応用することができる
4. IR に関する多様な考え方や経験を尊重し、参加者間で共に学びあう雰囲気貢献することができる
5. ワークショップ終了後も自ら学べるように、自身の課題と学習の情報源を把握できる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月27日(水)13:00~17:30

会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育3号館 335番教室

定 員 : 40名